わるまゝ　柏本大

へ12
4366
19

みるゝ下
けさ六月とのゝくもれるもあ
けさゝ上たゝいなそれるもあ
あはかとゝもる一つゝゝ下ゝ
朱雀院の四賀之源氏四十

一の三月より四十七月末よ
りゝゝり始九四十二ゝゝゝて
四四年ゝゝる氏物語ゝゝく
を源氏の八の方女三の宮の
ゝゝせゝゝ稱ゝゝゝて

ゆるゝ事上ゝその時ひまよりうち柏
本はゝ[illegible]のまゝ小[illegible]云
女房[illegible]教ちゝうとむ[illegible]ひ
柏本よりゆりの[illegible]源氏
[illegible]ありけるゝ

ゆやうゝ[illegible]ゝ
しゝ月すゝちうゝ
ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]

木

ひさしかりしと河とかりて
名ゝしれ源氏日十八の正月を
秋の末すでに九月のあけ年に
葉たれ〳〵やゝ〳〵物木の

あるん世三のうの世人病
とうり今ゆくりとうり
月ハつゆ名ゝりとうりぬ
文よりひのあさうゝ
まうもうれふりたゝん

小倉百人一首

をぐらやま峰のもみぢ葉心あらば
いまひとたびの
みゆきまつらん

奥山に
もみぢふみわけ
なくしかの
こえきくときぞ
あきはかなしき